

広島市長 松井一貫 様

2代目「平和の鐘」の原状修復（お願い）

広島市中央公園・ハノーバー庭園近くに、「平和の鐘」があります。この鐘は

- 昭和 24 年 8 月、広島銅合金鑄造会が自費制作し、2代目「平和の鐘」として広島市に寄贈したもので、現存する最古の「平和の鐘」です。
- 原爆犠牲者の鎮魂と平和の願いをこめて、焼け跡から集めた金属を鑄込んで造ったものです。
- しかし、同年 8 月 6 日の第 3 回平和祭で一度鳴らされただけで、その後は忘れ去られていました。

この鐘の音は真に被爆者の魂の響であり、この鐘を歴史の彼方に忘れ去ることは、市民の平和への思いを風化させることに繋がります。

このため私たちは、平成 27 年に市民有志で「響け！平和の鐘 実行委員会」を立ち上げ、毎年 8 月 6 日に祈念式を挙げてきました。参加者全員が原爆犠牲者の鎮魂と世界平和を願ってこの鐘を空高く響かせます。これからも広島市の協力を得て、祈念式を毎年開催します。

このような活動をより安全・効果的に実施し、併せてこの鐘の原状保全を図るために、下記の取り計らいを是非お願い致します。

記

1. 鐘楼の地盤の原状回復（写真 1）

現在の地盤面から約 60 cm 掘り下げ、もとの地盤面に回復させること。

（理由）

- ① 鐘楼の鉄柱が地盤面下に埋没しており腐食が進行する。
- ② 元はロープに体重をかけて真下に引く形であったが、地盤が高くなったことでそれが不可能となり、斜めに引っ張って鐘を鳴らしている。このため、高齢者は力不足で一人で鳴らすことが出来ない。

2. 鐘楼の鳩（鑄物）の復元（写真 2）

鐘楼の鉄柱 4 か所に鳩（鑄物）が取り付けられていたと推測されるが、現在 3 か所の鑄物が紛失している。

（理由）

- ① 鐘の原状保全を図る。
- ② 郷土の著名な日本画家・片田天玲画伯がデザインした。

平成 29 年 9 月 日

響け！平和の鐘 実行委員会 代表 高東博視
広島銅合金鑄造会 遺族会 代表 松村伸吉